



富里市景観計画

Tomisato City Landscape Plan

まち
豊かな自然・歴史・文化・都市が調和する
富里らしい景観づくり

令和8年3月
富里市

※表紙(下)写真提供:とみさとドローンクラブ

はじめに

富里市は、北東部には根本名川、南西部には高崎川が流れ、谷津田や斜面林など本市特有の貴重な自然空間が広がり、江戸時代に幕府直轄の牧であったことを伝える牧場や野馬土手、乗馬クラブが点在し、馬の文化や歴史が感じられる風景が見られます。



一方、成田国際空港に近接する地理的立地や、富里インターチェンジ及び酒々井インターチェンジなど交通インフラの整備・発展によりアクセス性が向上したことで、住宅地や商業地、工業団地等の立地が進み、都市的な景観も形成され、これらが一体となって、富里の景観をつくり出しています。

このように、過去から現在へと引き継がれてきた本市の魅力ある豊かな自然や田園風景、良好な市街地の街並みは市民共有の大切な財産です。私たちは、これからの富里を創造していくため、一人ひとりがまちづくりの当事者であることを認識し、主体的に行動することが求められています。

そのため、本市では、市民の皆様の御意見を取り入れながら、富里の豊かな自然と市街地との調和を図り、未来へと引き継ぐため、「富里市景観計画」を策定しました。

本計画では、基本目標を『豊かな自然・歴史・文化・^{まち}都市が調和する富里らしい景観づくり』として掲げ、市民、事業者、行政が協働のもと、本市への愛着や誇りを育み、住み続けたいという思いに繋げていくため、富里らしい景観形成に取り組み、自然豊かで魅力ある景観を将来にわたって保全・形成してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、御尽力いただきました富里市景観計画策定有識者懇談会の皆様をはじめ、アンケートやワークショップなどで貴重な御意見をいただきました市民の皆様、関係者各位に、心から御礼申し上げます。

令和8年（2026年）3月

富里市長 五十嵐 博文



目次

第1章 富里市景観計画の策定について ~なぜ、景観計画を策定するのか~	1
1 計画策定の背景と目的	3
2 計画の位置づけ	5
3 景観計画の区域	6
第2章 富里市の景観特性と課題 ~富里市の景観の魅力とは~	7
1 富里市の概要	9
2 富里市の景観の変遷	13
3 富里市の景観の特性と課題	25
第3章 富里市の良好な景観形成に関する方針 ~どのような景観をめざすのか~	43
1 景観形成の基本目標	45
2 景観形成の基本方針	46
3 景観計画区域の区分	48
第4章 良好な景観形成のための行為の制限 ~景観形成のしくみとルール~	55
1 景観誘導の考え方	57
2 届出の対象となる行為・規模等	58
3 届出の流れ	60
4 景観形成基準	62
5 景観形成配慮事項	70
第5章 屋外広告物の表示等の制限 ~屋外広告物のルール~	75
1 基本的な考え方	77
2 屋外広告物の表示等に関する基本方針	78
第6章 景観重要建造物・樹木・公共施設 ~景観形成を進めるうえで重要な建造物・樹木・公共施設~	81
1 景観資源の保全・活用	83
2 景観重要建造物の指定方針	84
3 景観重要樹木の指定方針	85
4 景観重要公共施設の指定方針	86
第7章 景観形成の推進 ~景観形成の進め方~	87
1 景観形成の主体と役割	89
2 景観施策の推進体制	90
3 景観計画の見直し	92
資料編	93
資料1 景観まちづくりワークショップ	95
資料2 景観に関する市民アンケート	96
資料3 策定の経緯と体制	103
用語集	107

